



木高通信

～誠実 は 光 な り き～

令和8年度 9月号

青森県立木造高等学校

2冠

◎陸上競技部

～県高校新人陸上競技大会～



「走高跳」「やり投げ」県大会優勝!

●走高跳: 秋田東瑚くん(23HR)自己ベストを更新し、1m88cmで優勝しました。「濱山先生からアドバイスを受け、その通りにフォームを意識した結果優勝できました」と微笑んでいました。

●やり投げ: 坂本瑛介くん(21HR)も自己ベストを更新し、54m59cmで優勝! 日頃の努力が実りました。おめでとう!



最優秀賞

◎演劇部

9/12・13

～県高校演劇コンクール予選会～

今回の作品は「お気に召すまま」というタイトル! 「イエスマンでいることは本当に正しいのか」をテーマにした劇でした。『何を言われても「はい」と受け入れ、反論しなければその場で大きな問題になることはないかもしれません。しかし、自分の気持ちや意見を伝えず、ただ受け入れ続けることが本当に良いことなのでしょうか。「自分の意見を伝えること」の大切さに目を向け、自分で考え、自分の意思で選択することについて問いかけてます。』県大会は10/29! 県大会でも活躍を期待しています!



◎早稲田大学との合同調査

～地元産業の実態は?～

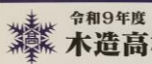


早稲田大学文化構想学部の学生27名の活動に木高生も同行しました。これは、つがる市が早稲田大学の研究活動を受け入れる連携協定で実施されており、そこに木高生も参加し、今年で2年目となります。9月7日(月)はワークショップを行い、また総探の活動を発表し、アドバイスをもらいました。8日(火)は商店や農家等に聞き取り調査。こうした交流のなかで大学生の視点や発想、コミュニケーション力など様々なことができました。今後の探究活動に活かしてもらいたいと思います。



(東奥日報掲載写真)

百年先も六華より麗しく咲け



令和9年度 木造高校は創立100周年を迎えます

記念式典 令和9年 10月24日(日) 木造高校第一体育館



◎中間報告会「ポスターセッション」

9月16日(水) 青森大学ソフトウェア情報学部および薬学部の教授、また青森中央学院大学経営法学部の准教授を助言者として迎え、本校第1・2体育館において、2年次総探の中間報告会が行われました。ポスターを制作しその説明を1年次生が聞いて、質疑応答をするという流れで実施しました。全部で34テーマ、ブースを1年次生がローテーションしました。発表を通して新たな課題や視点、またプレゼンテーションの能力を高め、1年次生は次年度の探究へのヒントを掴むことを目的としています。助言者からは研究課題への着眼点に感心される一方、プレゼンへの指導もありました。今後の活動に弾みをつけるものとなりました。



◎総探・課研研究など

～木高生の活動ぶり紹介～



先月号の続報

クラウドファンディング

つがる市かるたプロジェクト

目標金額 70万円

見事 達成!

8/1～9/23までの期間で、121名の支援者より、723,750円まで達しました。その他現金での寄付もありました。生徒も喜びに溢れています! 多くの方々にご賛同いただき、感謝申し上げます。大変ありがとうございました。



●駅で朝のパン販売



総合的な探究の時間で設定した検証を目的にフィールドワークを実施。津軽五所川原駅での6日間の朝7時～9時で「お菓工房たつや」さんの協力の下、パン販売を行いました。販売個数としては5

0個ですが、朝の利用者に対しどれだけの販売需要があるのかを検証し、そこから地域活性化への糸口を探するという目的での活動でした。FM五所川原に出演して宣伝をしたり、NHKのあっぷるワイドにも取り上げてもらいました。地域の多くの方々の協力に感謝いたします。ありがとうございました。

<メンバー> 3年次: 小坂佳大・鈴木康鷹・三浦千寿



●3年次フィールドワーク



小学生と触れ合うことで探究学習の課題解決に活かすということで、実際に瑞穂小学校へ行ってきました。探究テーマは「国語への苦手意識の理由・改善について」鎌田ほのか(34HR)さんが4年生約25名に国語の要約についての授業をしました。また「体育・運動が苦手な人が参加しやすい授業」という探究テーマのもと、タグラグビーの授業を5年生に対して、佐藤巧武(32HR)くん・成田心香(33HR)さんが行いました。この体験でどのような検証結果がでるか楽しみにしています。

